

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

石川県

行事名称	小松天満宮消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和7年1月26日（日）9：30～10：00
実施場所	重要文化財 小松天満宮 本殿・石の間・幣殿及び拝殿ほか（石川県小松市天神町1番地）
主催者	小松市消防本部 中消防署

■実施内容

訓練の想定

神社周辺で焚火をしていたものが天満宮本殿に飛び火し炎上、関係者が発見し119番通報を行う一方、本殿内より宮司により重要物品を搬出。近隣の町民（奉賛会）により初期消火を実施。火勢は拡大傾向にあり、消防隊により火災防御活用を実施。

訓練の内容

天満宮奉賛会及び近隣町内会役員による初期消火訓練（自衛消防訓練）、その後、火勢拡大による消防隊による火災防御活動を実施。

参加者及び役割分担

神社宮司（1名）：（重要物品の搬出）
 奉賛会・町内会（10名）：（119番通報、初期消火（屋外消火栓、放水銃））
 消防団（50名）：（全体総括、放水訓練、講評）
 小松市文化振興課（1名）：（現場立会）

特に工夫した点

奉賛会（町民）による初期消火訓練時には、屋外消火栓、放水銃を使用し訓練を実施。また、高低差のある河川から揚水作業を行い、ポンプ車へ中継送水する訓練を実施した。

問題点・課題

公設消火栓からはかなりの距離があることから、有事の際は、河川の水を使用して消火する計画である。現在、文化財敷地が梯川の浮島となっていることから、消防車両だけでなく奉賛会（町民）による初期消火が重要な役割を担うことになる。

その他

近隣町内会役員は積極的に訓練している。今後は、役員だけでなく近隣町民の積極的な参加を促すため、消防訓練に応急手当訓練等を付加して継続していきたい。

訓練風景



(奉賛会の放水銃による放水)



(消防団による放水)



(消防団による放水)